

第 4 回 定 例 会

市 長 行 政 報 告

平 成 2 9 年 1 1 月

平成29年第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク誘致について

まず始めに、北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク誘致についてありますが、球団側とこれまで12回の実務者協議を行い、構想実現に向けた課題や検討すべき事項について、認識の共有を図ってきたところであります。

また、9月には、本市にボールパークが立地した場合の交通量の想定や、新たな道路整備の必要性等を検討するための交通影響評価調査に着手し、現在、調査を進めているところであります。

なお、9月29日に行われた実務者協議において、候補地における配置案が示されたところであり、今後、施設の規模等の詳細が明らかになってくるものと考えられることから、これらの情報や周辺のインフラ整備等の必要性を踏まえ、引き続き、球団との協議を進めてまいります。

2 「株式会社セブン-イレブン・ジャパン」との協定締結について

次に、「株式会社セブン-イレブン・ジャパン」との協定締結についてですが、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的として「地域見守り活動に関する協定」を、9月7日に締結したところであります。

本協定では、宅配サービスの担当者が高齢者宅などへ訪問した際の異変などを市へ連絡していただくこととなっております。

また、災害が発生した場合における物資の供給等を目的として「災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定」を、同じく9月7日に締結したところであります。

本協定では、食料品、飲料及び日用品等の供給を要請できるほか、住民の日常生活の安定を確保するため、セブン-イレブン店舗の営業の継続又は早期再開を要請できることとしております。

今後につきましても、他の民間事業者とも連携を図り、高齢者等の見守り活動や災害発生時の物資供給に関する協定を広めてまいりたいと考えております。

3 東京北広島会の設立について

次に、東京北広島会の設立についてであります。北広島市にゆかりのある5名により、7月20日に東京北広島会発起人会を開催したところであり、賛同者数は10月末現在、約70名となっているところであります。

また、12月3日には東京都において、東京北広島会設立総会、設立記念行事及び交流会を開催する予定としているところであります。

なお、設立記念行事では、発起人でもある北広島高校出身の落語家、真打 ^{しゅんぷうていはくし}春風亭柏枝様に落語等を披露していただくこととなっております。

東京北広島会の設立後につきましては、引き続き、会員数の拡大を図るとともに、会員の皆様の交流の場を設けていくほか、本市の情報発信及び首都圏からの情報収集に努めてまいりたいと考えております。

4 子ども夢チャレンジ応援事業について

次に、子ども夢チャレンジ応援事業についてであります。次代を担う子どもたちが懐く夢の実現に向けたチャレンジを応援する取組として、応募をいただいた60件のうち3件のチャレンジについて支援を決定したところであります。

これまで、本人やサポートをいただく関係者の皆様と調整を進めてきたところであります。このたび、宇宙航空研究開発機構JAXA（ジャクサ）で働いて、世界で活躍できる人を目指す西の里中学校3年生のおおぬまののか香さんが、北海道大学理学部「惑星宇宙グループ」を訪問し、宇宙に関する研究に触れたほか、10月13日から14日まで、JAXA筑波宇宙センターで実地研修を行ったところであります。

また、とうじ杜氏を目指す西の里中学校2年生のいしいあやの石井綾乃さんは、小樽市の田中酒造株式会社において、夏休み期間中、一週間にわたり製造者とともに酒造りを学んだほか、本市の地酒「久蔵翁」の原料となる赤毛米の収穫体験を行ったところであります。

また、いちせあいしん落語家を目指す大曲東小学校4年生の一瀬藍信さんは、市民のご協力により、落語芸術協会理事 桂竹丸さんと交流を持つ機会が得られ、8月8日から9日まで、東京都浅草演芸ホールでプロの落語家と直接対面し落語家になるためのアドバイスをいただいたほか、市内福祉施設において市民の皆様へ落語を披露する機会を設けるなど、それぞれのチャレンジを実現したところであります。

なお、チャレンジの実施結果につきましては、市民の皆様などに広く知っていただくため、12月23日に芸術文化ホールにおいて、報告会を実施することとしております。

5 きたひろしま市民会議の開催について

次に、きたひろしま市民会議の開催についてであります。無作為抽出による1,000名の市民のうち、会議への参加を希望していただいた方々の中から、地区や年代を考慮して選出した30名を対象に、11月19日に、図書館において開催したところであります。

会議では、まちづくりに関する基調講演のほか、参加者が5つのグループに分かれ、「まちづくり」「公共交通」「子育て支援」「生活環境」「ボールパーク誘致」などをテーマにグループ討議を行い、幅広い市民の皆様から、日頃の生活で感じていること、まちづくりに関するご意見などが出されたところであります。

いただいたご意見などにつきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきますほか、各種施策に生かしてまいりたいと考えております。

6 学童クラブの整備について

次に、学童クラブの整備についてであります。東部小学校区の学童クラブにつきましては、現在、児童養護施設天使の園の多目的ホールを借り受け、開設しているところであります。借上期間が平成30年度末をもって終了することから、新たに東部小学校敷地内に定員110名の施設を整備することとしたところであります。

なお、本定例会において、実施設計に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

7 ファーストマイホーム支援事業について

次に、ファーストマイホーム支援事業についてであります。子育て世代の定住促進を目的に、本年度の申請受付を4月1日から開始し、これまでに70件の助成を決定したところであります。

その内訳につきましては、市内転居が27件103名、転入が43件153名となっており、256名の定住に結びついたところであります。

制度利用に関する問い合わせにつきましては、現在もなお多く寄せられており、定住人口の増加に向けた取組を推進する必要があることから、助成枠を拡大してまいりたいと考えており、本定例会において、追加事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

なお、平成30年1月からは対象者を拡大し、親世代との同居や近居、少子高齢化の進む北広島団地地区への誘導など、新たな視点を加えた「子育て世代マイホーム購入サポート事業」へ移行することとしたところであります。

8 輪厚スマートインターチェンジについて

次に、輪厚スマートインターチェンジについてであります。昨年9月から24時間運用を開始し、今年8月までの1年間の日平均^{でい}出入り交通量は、2,127台となっており、運用開始前と比較すると、234台の増加となっているところであります。

このたびの24時間運用により、企業誘致や救急搬送の時間短縮などに、効果があったものと考えているところであります。

9 平成29年7月から9月における寄附について

次に、平成29年7月から9月における寄附についてであります。現金による寄附につきましては個人・企業などから4件、2,479,200円、物品の寄附につきましては眼科医療用品など2件となっているところであります。

また、今年度から実施しております「ふるさと納税」につきましては、7月から9月までの3か月間で、208件、2,975,000円の寄附をいただいているところであります。

ご寄附をいただきました皆様に心から感謝を申し上げるとともに、本市のまちづくりのため、大切に活用させていただきたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。